

第4学年 国語（書写）

第4学年の学習到達目標

- (1) 文字の組み立て方に注意して、文字の形を整えて書くことができる。
- (2) 文字の大きさや配列に注意して書くことができる。
- (3) 毛筆を使用して、点画の筆使いや文字の組み立て方に注意しながら、文字の形を整えて書くことができる。

第4学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	はじめに ・毛筆のしせい ・毛筆で書こう	毛筆の姿勢・筆の持ち方、用具の置き方・扱い方を確認する。既習の筆使いと始筆・終筆について確認する。穂先の通り道の調べ方を理解する。	毛筆の姿勢・筆の持ち方、用具の置き方・扱い方 既習の筆使いと始筆・終筆 筆使い...「横画」「縦画」「点」「折れ」「左払い」「右払い」「はね」「曲がり」「反り」
	字形 ・画の長さ 羊	「羊」の「横画」の長さを理解する。既習事項にも注意して、「羊」を整えて書く。硬筆で、画の長さに注意して書く。	字形の整え方...画の長さ（「横画」） 字形の整え方...画の長さ（「横画」「縦画」「左払い」）
	字形 ・画の方向 麦	「麦」の「横画」や「左払い」の方向を理解する。既習事項にも注意して、「麦」を整えて書く。「麦」と「冬」の「左払い」の方向の違いを理解する。硬筆で、画の方向に注意して書く。	字形の整え方...画の方向（「横画」「左払い」） 「麦」と「冬」の「左払い」の方向の違い
	・こう筆に生かそう 字形の整え方	既習の字形の整え方についてまとめる。字形の整え方に注意して書く。	硬筆の姿勢・鉛筆の持ち方 既習の字形の整え方 字形の整え方...画の長さ、画の方向、文字の中心、外形、画の接し方、画の交わり方、画の間隔、組み立て方 字形の整え方
	文字の話 ・おもしろいね！日本語の書き方	日本語の書き方の特徴を知る。	日本語の書き方の特徴を知り、日本語の書き方に興味を持つこと
	チャレンジ！ ・新聞を作ろう	既習事項を生かして丁寧に書く。	既習事項を生かして、新聞記事を丁寧に書くこと
	字形 ・筆順と字形 左右	「左」「右」の筆順と画の長さ、外形を理解する。既習事項にも注意して、「左右」を整えて書く。硬筆で、筆順と画の長さ、外形に注意して書く。	毛筆の姿勢・筆の持ち方 「左」「右」の筆順と画の長さ、外形 字形の整え方...筆順と字形（画の長さ、外形） 硬筆の筆順と画の長さ、外形
	・こう筆に生かそう 筆順と字形	筆順の原則を理解し、筆順に従って書く。間違えやすい筆順に注意して書く。	筆順の原則、筆順 筆順の原則...「横画」が先、「左払い」が先、「縦画」が先
後期	字形 ・組み立て方(左右の部分) 土地	「地」の左右の組み立て方を理解する。「曲がり」の筆使いを理解する。既習事項にも注意して、「土地」を整えて書く。硬筆で、左右の組み立て方に注意して書く。	字形の整え方...組み立て方(左右の部分) 「曲がり」の筆使い 筆使い...「曲がり」 硬筆の左右の組み立て方

	筆使い・配列・横書き ・筆使い(ひらがな) わし	平仮名の「曲がり」「折れ」「折り返し」の筆使いを理解する。 平仮名の筆使いの特徴を理解する。 硬筆で、平仮名の筆使いに注意して書く。	平仮名の「曲がり」「折れ」「折り返し」の筆使い 平仮名の筆使いの特徴 平仮名の筆使い...「曲がり」「折れ」「折り返し」、軽い始筆、線の丸み 硬筆の平仮名の筆使い
	・こう筆に生かそう 漢字とかなの大きさ	仮名は漢字より小さめに書くことを理解し、漢字と仮名の大きさを考えて書く。	仮名は漢字より小さめに書くこと 漢字と仮名の大きさ 配列...漢字と仮名の大きさ
	・こう筆に生かそう 横書き	横書きには二通りの文字のそろえ方があることを理解し、横の行を整えて書く。	横書きには二通りの文字のそろえ方があること 漢字と仮名の大きさ 横の行を整えて書くこと 配列...漢字と仮名の大きさ、横書き
	チャレンジ! ・書きぞめをしよう 天空 晴れた空) まとめ ・まとめ 切手	既習事項を生かして書き初めをする。 小筆の持ち方や使い方を確認し、名前を丁寧に書く。	小筆の持ち方や使い方、 書き初め用紙に書く場合の姿勢 小筆で名前を丁寧に書くこと
後期		4年で学習したことをまとめる。 「反り」の筆使いを理解する。 自分の目当てを持って学習する。 自分の目当てに対して、自己評価をする。 相互評価をする。	4年で学習したことをまとめる 筆使い...平仮名の「曲がり」「折れ」「折り返し」、漢字の「曲がり」 字形の整え方...画の長さ、画の方向、筆順と字形、組み立て方 配列...漢字と仮名の大きさ、横書き 毛筆の姿勢・筆の持ち方 「反り」の筆使い 筆使い...「反り」 自己・相互評価
	チャレンジ! ・手紙やはがきで知らせよう	既習事項を生かして丁寧に書く。	二つの教材(手紙と、はがきの招待状)から自分の課題を選択し、既習事項を生かして丁寧に書くこと 学習の成果の自己評価

評価の観点・方法

(1) 評価の観点 【言語についての知識・理解・技能】 文字の大きさ、配列、毛筆では、点画の接し方、交わり方、方向、文字の組み立て方などを理解して文字を正しく書く。	(2) 評価の方法 自己評価、相互評価を生かしながら学習に取り組む態度や、自分のよさを生かしたり、互いのよさを認め合ったりしながら学習を深めようとする姿勢を評価していきます。 「よい子のあゆみ」では、毎時間や学期を通じての取り組みをもとに、国語科の「主な観点と達成の様子」の中に到達度で示します。
--	--

特色ある学習方法

(1) 子どもたちが主体的に学習を進められるように、自ら課題を見つけて、学習方法を選択できる活動を取り入れます。
(2) 日常に生きて働く書写力を育成するため、硬筆と毛筆との関連学習や硬筆と毛筆が一体化した学習を取り入れます。

使用教材

教科書 「新しい書写4年」(東京書籍) 書写ノート 水書版(より具体的に分かりやすく筆の運び方や線の方向を示す) 習字道具など 硬筆の学習の場合・・・書写ノート、鉛筆(2B)、フェルトペン、赤ペン 毛筆の学習の場合・・・すずり、墨液、大筆、小筆、筆巻き、下敷き、文鎮、ぞうきん この他に、新聞紙を閉じたものを用意させてください。書き上がった作品の処理に使います。

留意事項

(1) 用具を大切に扱うことも大事な学習です。用具の取り扱いや手入れの仕方については学校で指導しますが、ご家庭でも声かけをお願いします。自分で手入れをする習慣を付けることが何よりも大切です。
(2) 作品の良いところをほめてあげてください。また、学習したことが、日々のノートやプリントなどの文字に生かせるよう声をかけていただきたいと思います。